

明星【白川小だより】

学校HPへ
QRコードで
検索を！！



令和3年2月25日発行

第55号

文責:三谷

『であり、ふれあい、そして未来へ』～自分を發揮し 求め続ける白川っ子の育成～



＜市歴史博物館出前授業＞←2月19日（金）

4年生の子どもたちが、市歴史博物館の方に来ていただきて出前授業がありました。「よりよい地域をつくった人々」を課題に学芸員さんから、江戸時代に曲がりくねっていた椋川や鈴鹿川の改修工事をして洪水による水害を防いだ生田理左衛門（いくた りざえもん）さんのお話を聞きました。子どもたちは興味深そうにお話を聞いて、教科書で確認しながら一生懸命にメモをとっていました。地域学習することで郷土を見つめなおすことができる社会科の時間となりました。



＜新たな旅立ち（卒業証書授与式）への準備＞←2月19日（金）

5限目総合の時間に卒業式に向けて学級内で準備が始まりました。まず、担任の先生から「別れのことば」の流れの説明を聞いてから、一人ひとりが卒業証書授与の時に発表するテーマ「将来の夢」or「中学校で頑張りたいこと」についての説明があり考えました。



＜ひな人形をいただきました＞←2月19日（金）

先日、土肥啓二さん（市内みどり町在住）に来校いただき、放課後の活動で井田川小校区において子どもたちと一緒に工作をされているとのことで、身近にあるもので作ったかわいい手作りの雛人形を寄贈いただきました。

玄関に置かせていただきますので、来校の際は、ご覧ください。ありがとうございました。



<多様な違いを認め合うことの大切さ(すみがく)>←2月22日(月)

5限目に「一人ひとりが色々な考え方・思いがあることについて考えよう」をテーマに、質問をもとに考えました。

【場面設定】

「ドラえもんとアンパンマンはドラえもんの方が強い」という質問で、「はい」・「たぶん、はい」・「たぶん、いいえ」・「いいえ」で答えるとともに、なぜ自分はそう思った(考えた)のか理由を考えました。

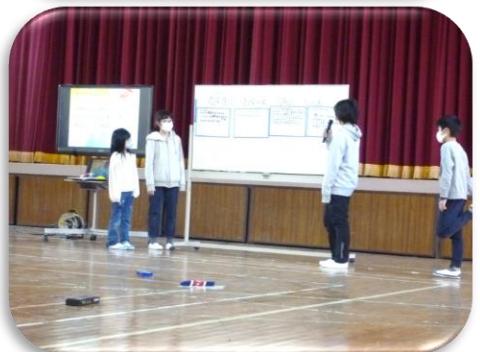
という設問から、まず個人で考えてから、同じ意見の子どもたちが集まり意見を交流しました。そして、4つのグループの中で色々な思いや考え方を持っている集団(学年・学級)での自分が何を大切にしていかなければならないかを考えました。

より良い人間関係を築くには、一人ひとりの価値観を認め合い受け入れることが大切です。「価値観」とは、大切に思っている(=価値を置いている)物事への考え方ということで、「価値観」は、具体的に温かくお互いの意見や考えを尊重しながら接することや相手の立場に立った励ましや援助等を含む色々な親切な行為として現れます。子どもたちにとって、まずは身近な人に広く目を向けて、温かい心で接し、温かい心をとどけたいという気持ちを深めることができます。

特に、体験学習(身近にいる幼い人や高齢者の方等との直接的ななかわり合い)を通して、相手のことを認め、受け入れることで具体的に親切な行為ができるようにすることが必要であると思います。そして、多くの人とかかわっていく中で、親切にした方もされた方も互いに温かい気持ちになり、人間関係を和やかなものにしていけることを、今後の活動を通して体感してほしいと願っています。



すみがく
令和3年2月22日(月)



【子どもたちの振り返り(感じたこと・考えたこと・思ったこと)より】

- ・一人ひとり考え方も感じ方も違うとわかった。考え方方が違うといって差別したり冷やかしするのはだめだと知れた。いろんな人の意見を受け止めたい。
- ・自分と違う考え方の人の考えを聞いたら納得するところもあった。
- ・自分の意見を持つことは、とても大切なだとわかりました。これから的生活の中でも、自分はどういうふうに考えたか、考えを持ちたいです。
- ・それぞれの考え方を尊重することが大切だと思った。そして、考え方は一つだけと思わず人の意見を聞くといいと思った。
- ・今日のすみがくでは、心地よく過ごすために、協力できたと思いました。これからも協力して楽しく過ごすことができるよう工夫したいです。
- ・同じ質問でもいろんな意見があつて人によって考え方方が違うんだなと思いました。
- ・見方を変えると答えもずいぶん変わることがわかりました。いろんな見方をできるようになりたいです。
- ・みんなの意見を聞いて、すごいなと思いました。

等

